

れいわにねんど
令和2年度

ぶんかげいじゅつ

こどもいくせいそうごうじぎょう

じゅんかいこうえんじぎょう

文化芸術による子供育成総合事業

—巡回公演事業—

NUTCRACKER

ほうむらともい だん
法村友井バレエ団

こうえん
〈バレエ公演〉

ぶんかげいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

わ くに いちりゅう ぶんかげいじゅつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供た
ちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコ
ミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の
向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえんしどうまた かんしょうしどう おこな
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文化庁

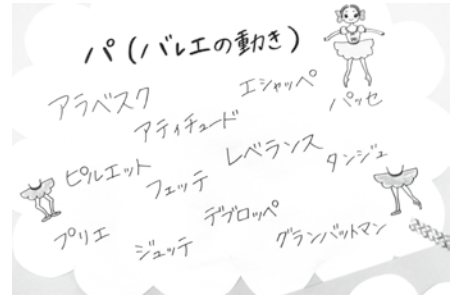
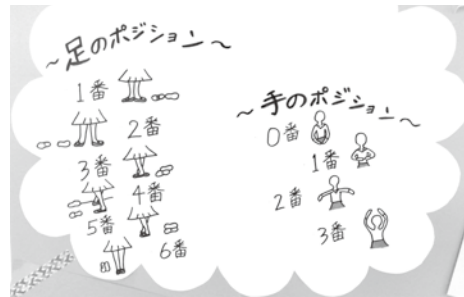
プログラム

(学校により若干内容が変わる場合があります)

●第一部 「バレエを学んで体験しよう」

第一部では、バレエの基本にあたるレッスンやマイムを紹介します。

美しく、魅力的に踊るには自分の身体をしっかりコントロールできることや安定したバランス、音楽に合わせるリズム感、そして機敏で柔らかな身体作りが必要です。その練習のためにバレエでは、レッスン用のバーを使って、音楽にあわせながら訓練をします。バレエでは手や腕の形（ポジション）や足の開き具合（ポジション）の基本が決まっています。その決まったポジションを正しく身につけて取り入れながら様々な踊りを表現していきます。また、クラシックバレエの作品は物語になっていて、音楽に合わせてたくさんの演技者（役者）や踊り手で作っていますが、お話しを紹介するのに声を出して言葉をつかいません。そのかわり手のしぐさ、からだの動き、表情などの“マイム”で物語の会話や気持ちを表現して物語を紹介します。バレエのレッスンの様子やマイムのやり方、バレエの見所がある小品を紹介します。



●第二部 「くるみ割り人形 ~クララの夢~」スペシャル公演

※くるみ割り人形のお話し・・・とある王国で、王子が誕生します。しかし、その場にいた人間がねずみの女王を踏んでしまったために王子は呪われ、“くるみ割り人形”になってしまいます。クリスマス・イブの夜、ドイツのシュタールバウム家の大広間ではパーティーが行われます。少女クララはドロッセルマイヤー老人からくるみ割り人形をプレゼントされます。ところが、取り合いになり弟のフリッツが壊してしまいます。みんなが寝静まった夜中、クララは広間に置いてあるくるみ割り人形を見に来ます。ちょうど時計の針が12時を告げると、不思議な事にクリスマスツリーが大きくなり、クララの体は人形と同じ大きさになります。そこに、はつかねずみの大群が押し寄せてきて、クララをからかいます。するとくるみ割り人形の指揮する兵隊人形たちが、はつかねずみ達に對抗し、くるみ割り人形とはつかねずみの王様の一騎討ちとなり、くるみ割り人形あわや！というところで、クララがスリッパをつかみねずみの王様に投げつけ、はつかねずみたちは退散します。倒れたくるみ割り人形を起こしてみると素敵な王子に変身します。王子はクララをおれに「雪の国」と「お菓子の国」に招待し、2人は旅立ちます。雪が舞う松林に2人がさしかかる所では、幻想的な雪の精達に迎えられます。お菓子の国の魔法の城に到着すると王子は、こんぺい糖の精にクララを紹介し、たくさんのお菓子の精たちによる歓迎の宴が繰り広げられ、「スペインの踊り」、「中国人形の踊り」、「アラビアの踊り」など各国の踊りが披露され、「草笛の踊り」、「トレパーク」、華やかな「花のワルツ」へと続きます。クララはクリスマスツリーのもとで夢からさめると不思議でステキな気持ちに一つまれていました。

出演者とスタッフ

※公演日程により変動いたします

(団長) 法村 牧緒 / (出演者・衣裳スタッフ) 井口 雅之 大野 晃弘 法村 圭緒 今村 泰典 奥田 慎也 今井 大輔 池田 健人 大西 慎哉 北村 俊介 豊永 太優
堤本麻起子 辰巳 紗代 佐野 裕子 坂田麻由美 中内 綾美 松波 満耶 山野 有可 川本 優貴 井上 麻緒 神木 遥 安田有利佳 南野衣緒梨 中辻里佳子 入本ひなの
久村 萌子 榎原せいか 春木友里沙 中谷亜衣子 永田 志穂 浦富 愛莉 石原 歩実 馬野 瑞季 野 舞翔 本村 結愛 前田 葵 多田 愛葉 佐野 光里 中村 莉菜
(演出・振付) 法村 圭緒 / (振付補佐) 森川起美子 大川小百合 / (舞台監督) 渋谷 文孝 / (監督補佐) 片山 禎三 / (音響) (有) ティーアンドクルー / (照明) (有) アート・オー
/ (大道具・装置操作) 日本ステージ (株)、(有) ウォーターマインド